

【問】傍線部「世の中の『問題』には、実はたくさん解がある」とは、どういうことですか。本文の内容をふまえて説明してください。また、筆者の見解に対するあなたの考えを述べてください。なお、字数は六〇〇字とします。 【時間六〇分】

エスカレーターに乗った時に、ステップの右側に立つか、左側に立つか。東京と大阪では反対なので、新幹線で移動した時などに迷ってしまう人も多いだろう。なぜ日本全国で統一しないのだろうか。

そもそも、片側だけに立ち、反対側は歩いて上り下りする人のために空けておく、という慣習があること自体が問題だ、という言い方もできる。混んでいる駅などで沢山たくさんの人たちがエスカレーターに乗ろうと殺到し、しかしながら片側だけに立つために、エスカレーターの乗り場が大混雑している様子を、都市圏では毎日見ることができ、片側だけに立つより、混んでいる場合は両方に立つ方が沢山の人数をさばくことができる、というイギリスの実験結果も知られている。ならば、エスカレーター上で歩かないように慣習を変更できないのだろうか？

こういった問題は、すでに社会に定着してしまっている慣習を変更するというのだから、解くのは大変難しいようだ。であれば、画期的な「デザイン」の変更で、解を導くしかない。そう考えるのは僕が科学者だからかもしれないが。

容易に思いつく解として、例えば、エスカレーターをそもそも1列にする、というのがある。2列だから「片側」という概念が発生する。1列なら、立ち止まるしかないだろう。

また、もう少し刺激的な解として、エスカレーターの段差を2倍にしてしまう、というのがある。そうすれば、すでに階段の形をしていないので、エスカレーターを駆け上がるという行為もなくなるだろう。

エスカレーターに乗るたびに、こういった技術デザインの解を、素人ながら考えるのは楽しい。段差を倍にするなんて技術的にできるかどうかかわからないけれど、乗ってみた気もする。

そんなある日、香港に出張した僕は、驚愕きょうがくの風景を目にした。地下鉄の駅にある普通のエスカレーターで、両側にきちんと人が立っているのである。香港というと、非常に忙しく早足で歩いている人が多いイメージである。急いでいる人も多いはずなのに、なぜ、香港ではエスカレーターで両側に人は立つのだろうか。

そこで、エスカレーターに乗ってみた。理由は瞬時に理解できた。高速なのである。日本の普通のエスカレーターに比べて、体感的には2倍ぐらい速い気がする。そもそも速いので、人々はあまりエスカレーターの上で歩かないのである。

僕は衝撃を受けた。人々を両側に立たせるためにはどんなデザインのエスカレーターにすればいいんだろう、どう作り変えればいいのかだろう、僕はそんな風にしか考えていなかったのだ。香港の速いエスカレーター。考えてもみなかった解だった。

香港ではその後、嬉しくて、理由もなく何度もエスカレーターに乗ってみた僕だが、ふと我に返ると、自分のことが残念に思えてきた。自分のものの考え方、捉え方がとても狭いことを知らされた気がしたのだ。

どうも、専門性は考え方を固定化する傾向があるようだ。よくある理系ジョークに、花火大会での会話で専門がバレる、というのがある。美しい大きな花火が上がった時に、「今のはマグネシウムが多いな」とか言ったら化学系、「音の遅れから発火点は2キロ先」とか言ったら物理系、「仰角が30度だから三角関数が使いやすい」とか言ったら数学系、といった具合である。実はこの話はジョークでもなんでもなく、「あるある」話なのであるが、それはともかく、専門に首までどっぷり浸ひたりすぎると、花火が美しいという観点が全く変わってしまう、という典型例だろう。

受験の数学の問題と違って、世の中の「問題」には、実はたくさん解がある。社会の観点からの解、物理の観点からの解、感性の観点からの解、多種多様である。問題を解くための前提の範囲や種類に応じて、解は複数存在する。だから、もし「本当の解」というものが存在するなら、それは多種の解の組み合わせなのだろう。花火が美しいのは、様々な解を統合しているからに違いない。香港の速いエスカレーターは、社会と物理の組み合わせ解だったようだ。

問題と同時に答えがある、と数学者は言う。その境地に達することは難しくても、例えば、逆に、解法が先にあり、解ける問題を探す、ということもあり得よう。世の中には無限種類の問題があつて、解法は自分にしかわからないのだから。たまたま自分が解けて、しかもその問題が他の人にも重要だったら、運がいいのだ。

今日もエスカレーターの片側に立ち止まって乗りながら、そんなことを考えている。

【出典】橋本幸士「エスカレーター問題の解」『小説すばる』二〇一六年一月号。

二〇一八年度A

小論文 (60分)

受験番号

△注意▽

- 一、開始のチャイムが鳴るまで、この冊子を開いてはいけません。
- 二、小論文用紙は、2枚配布されます。どちらか1枚を提出しなさい。
- 三、提出する小論文用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入しなさい。
- 四、提出する小論文用紙の冒頭にある所定欄に、○印を付けなさい。